

# 盲斑の形と大きさ



SOIL-SHOP実験室

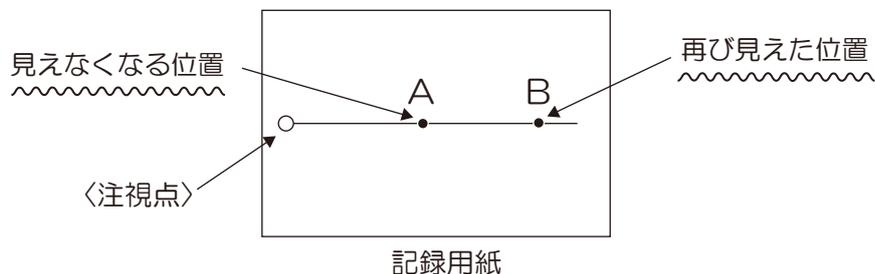
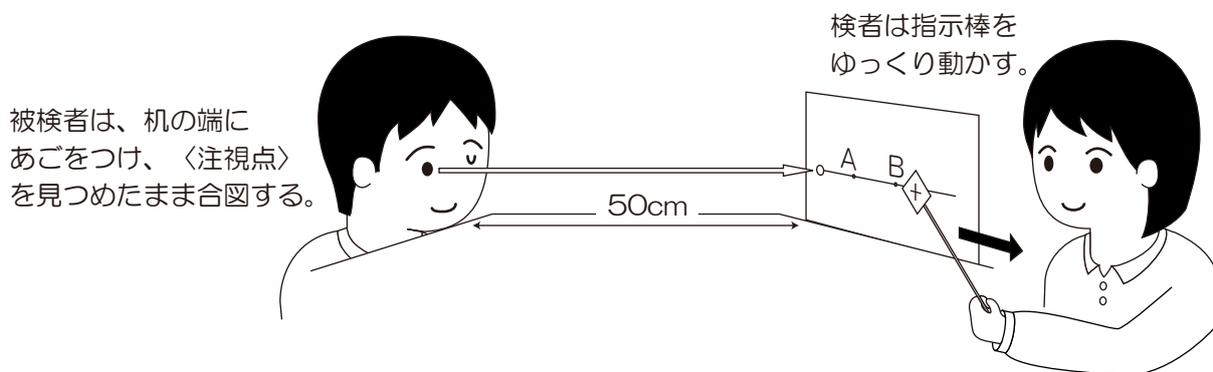
【目的】 盲斑の形と、大きさを調べる。

【準備】 記録用紙・・・別紙A3版ヨコ×2種類（右目用&左目用）  
指示棒

【方法】 ※ 右目の場合

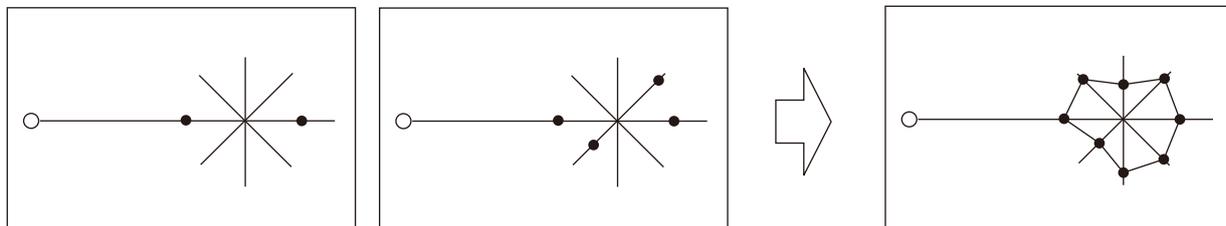
## [盲斑の形を調べる]

- ① 2人組で、それぞれ検者と被検者になる。
- ② 記録用紙を、机の端から50cmのところの椅子の側面に貼り付ける。
- ③ 被検者は机の端にあごをつけ、記録用紙の〈注視点〉を右目で見つめる。  
(このとき左目は閉じるか、手でおおっておく。)
- ④ 検者は、指示棒の先端を〈注視点〉から徐々に右側に動かす。  
被検者は、指示棒の先端が見えなくなる位置 (A) と再び見えた位置 (B) を合図し、  
記録用紙に記入してもらう。



- ⑤ (A) と (B) の中点から、放射線を引き、  
それぞれの放射線上で、④を繰り返す。

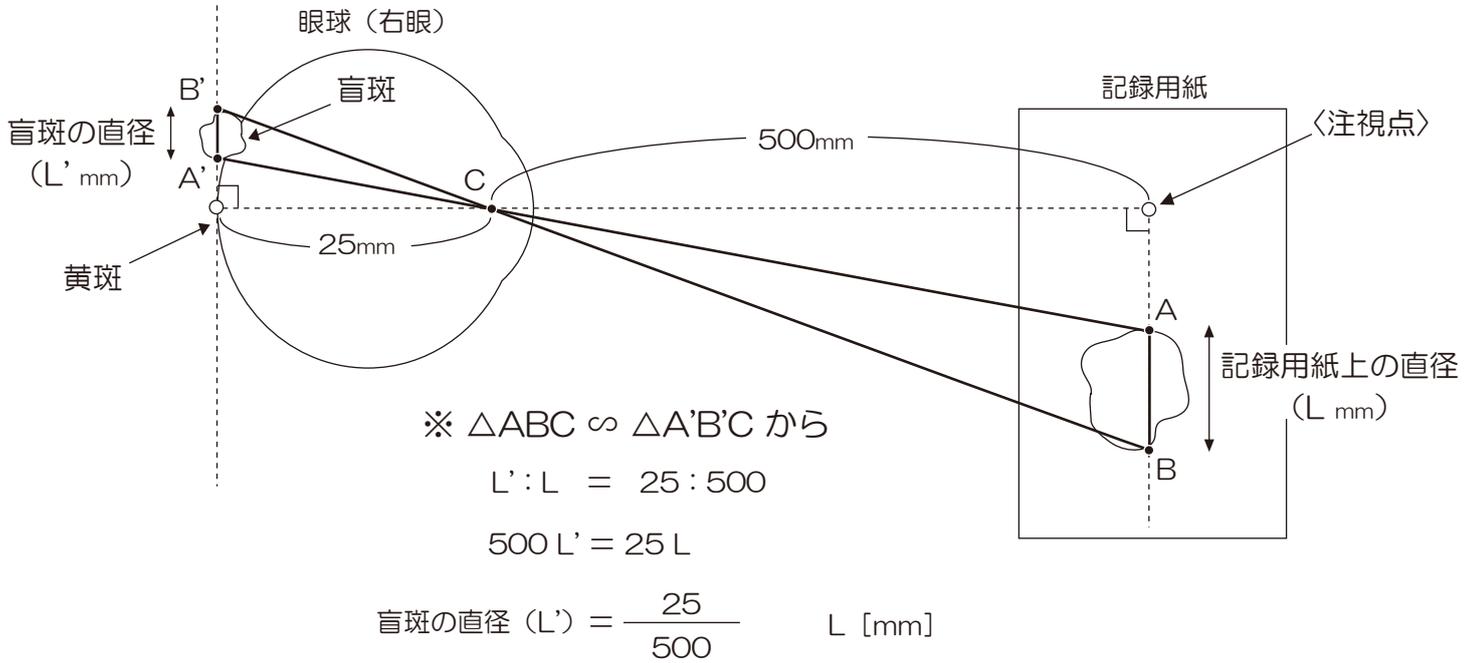
- ⑥ 放射線上の各点を直線で結ぶ。



## [盲斑の大きさを調べる]

⑦ 眼球の直径を25mmとして、図形の相似比から、実際の盲斑の直径を求めろ。

$(L' \text{ mm})$



### 【考察】

1. 盲斑の長径は、何mmか。
2. 盲斑と黄斑との間の距離は、何mmか。
3. 日常生活では、盲斑の存在を意識することはほとんどない。なぜだろうか。

※ 今回の実験・観察で気付いたことや、新たな疑問を書き出す。

## [参考資料～盲斑]

① 右目で+印を見つめながらプリントを前後させる。



確かにあったはずの●印が・・・。

② 右目で+印を見つめながらプリントを前後させ、●印が見えなくなる位置を探す。



●印のところには何も見えないはずなのに・・・。

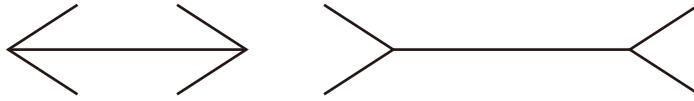
③ 右目で+印を見つめながらプリントを前後させる。



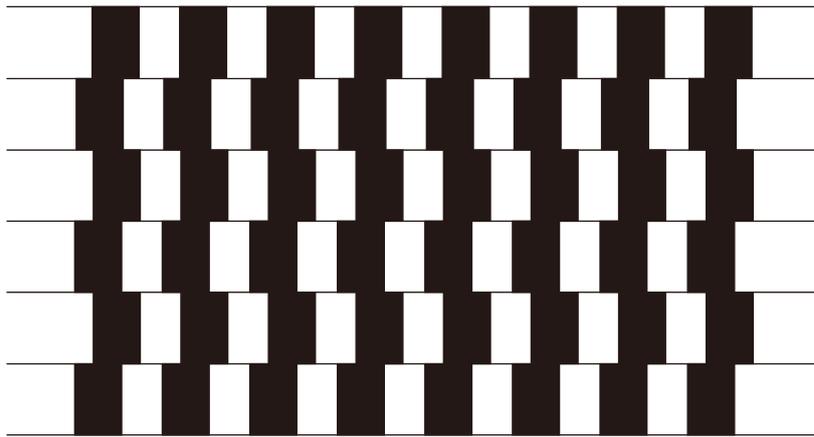
途中で切れているはずの線が・・・。

## [参考資料～錯視]

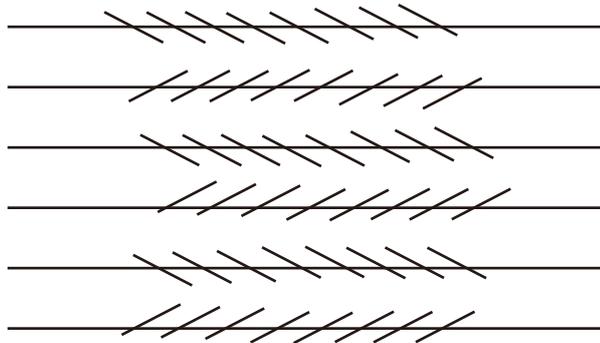
① 左右の水平線の長さは同じ。(ミュラー・リヤー錯視)



② 横線は互いに平行。(カフェウォール錯視)



③ 横線は互いに平行。(ツェルナー錯視)



④ きらめき格子の錯視

